



The Imperial Series

LISZT

Reference

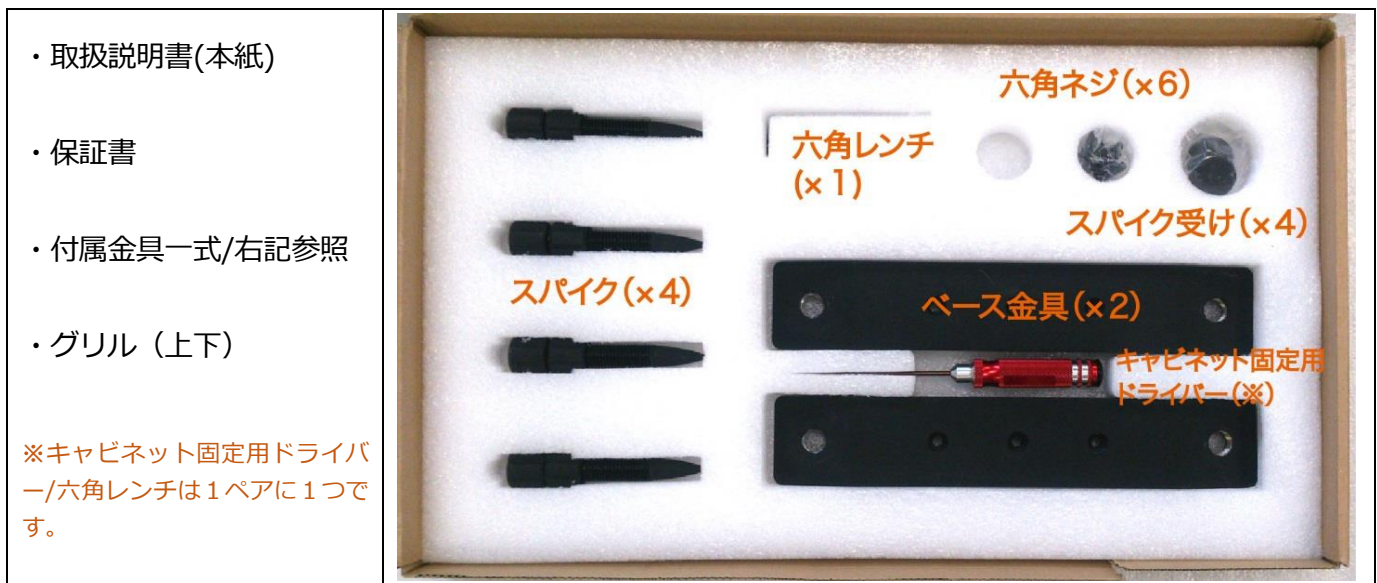
取扱説明書

この度は、Vienna Acoustics / Liszt Reference をご購入頂き誠に有難うございます。

このスピーカーの性能をフルに発揮させるため、この取扱説明書を注意深く読み、セットアップの方法をご活用下さい。最も重要なことは、音楽を聴くこと、楽しむことです。お客様のリスニング環境はそれぞれ異なり、わずかな調整で大きく変わることがございます。音楽性豊かなこのスピーカーを末永くお楽しみください。

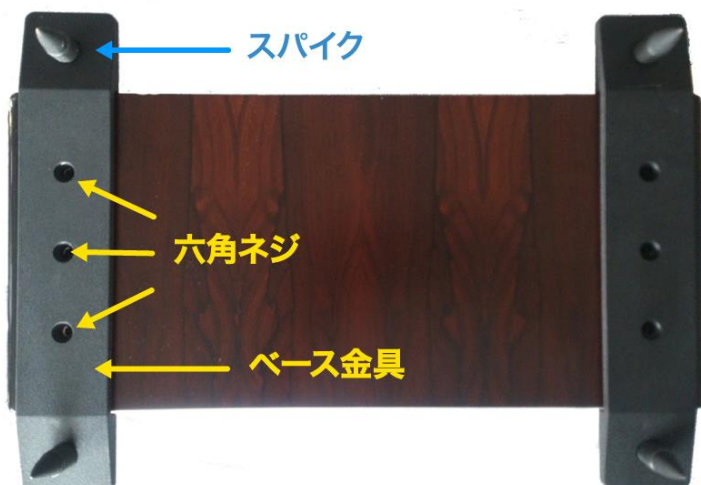
付属品の確認と金具等の取付

以下の付属品を確認して、ベース金具やスパイクを取り付けて下さい。



スパイク・金具の取付

スピーカー底面に、付属の六角ネジでベース金具を固定します。このときネジに緩みがあると、がたつきの原因になりますので、しっかり固定してください。ベース金具は前後に2個取り付けます。ベース金具を取り付けたら、四隅の穴にスパイクを取り付けます。



スパイクナットの取り付け位置

アンプ

ウィーン・アコースティクスのスピーカーは、いろいろな種類のアンプにおいて卓越した音を再生します。使用するアンプは、部屋の大きさや音量にもよりますが、出力は最低 50W 以上のアンプを推奨します。(Specifications を参照)

接続

スピーカー端子は、バナナプラグ、スペードプラグ接続に対応するように設計されています。スピーカーケーブルと入力端子間の接触不良は、音質の劣化につながりますので、確実に締まっていることを確認してください。

ケーブルを接続する際は、必ずアンプの電源を切った状態で行い、接続の不良やケーブルのショートが無いのを確認してから、電源を入れてください。ケーブルや端子の酸化は、音質の低下につながりますので、定期的なクリーニングをお勧めします。

スピーカーケーブル

より良い音楽再生の為に、高品質のスピーカーケーブルを使用することをお勧めします。高品質のケーブルはシステムをファインチューニングする為の重要な要素で、ケーブル選択も、雑誌などを参考に慎重に行ってください。

ブレイクイン

全体の中で最も重要な時間は、ブレイクインプロセスの最初の 50 時間です。この間だけは、あまり大きな音量で再生しないことが重要です。この間は通常の音量にすることを心がけて下さい。

このプロセスを完了するための最も簡単な方法は、CD をリピート状態にして、数日間スピーカーを鳴らすことです。

エージング

スピーカーには可動部分が多くあり、これらの部分が滑らかに作動するようになるにはある程度の時間が必要です。最初の 50 時間の再生で大きく変わり、300 時間程度で最良の状態になるでしょう。

設置

スピーカーの配置は、音質に重要な影響を与えます。お使いのスピーカーのための最適な位置を見つけるために次のヒントを参考にしてください。

第1のポイントは、左右のスピーカーからリスニングポイントまでの距離を同じにすることです。

仮にスピーカーの間隔を3メートルにした場合は、リスニングポイントからスピーカーまでの距離は最低3メートル以上にして下さい。

第2のポイントは、トーンインです。

LISZT REFERENCEのようなツーピース設計のスピーカーでは、単一のキャビネットのものより、多くの注意が必要です。

スピーカー下のキャビネットは、リスニングポイントから後方へ1~2m離れた(A)の位置に向くように調整します(図I)。

(A)とリスニングポイント間の約半分の所を(B)位置とします。上のキャビネットは、リスニングポイントから後方へ(B)の位置に向くように調整します(図II)。

※上のキャビネットの固定方法は P4「上のキャビネットの固定」 をご覧ください。

図 I

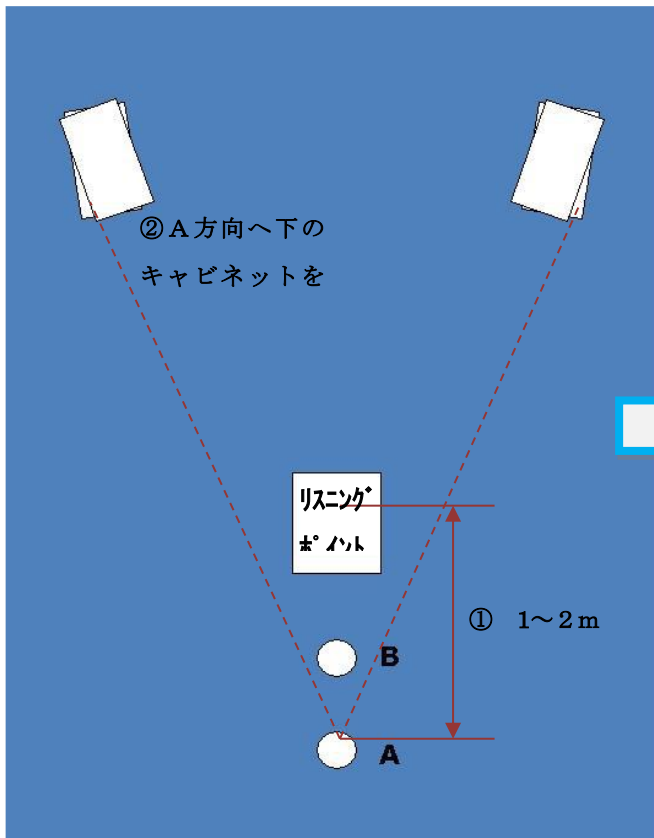
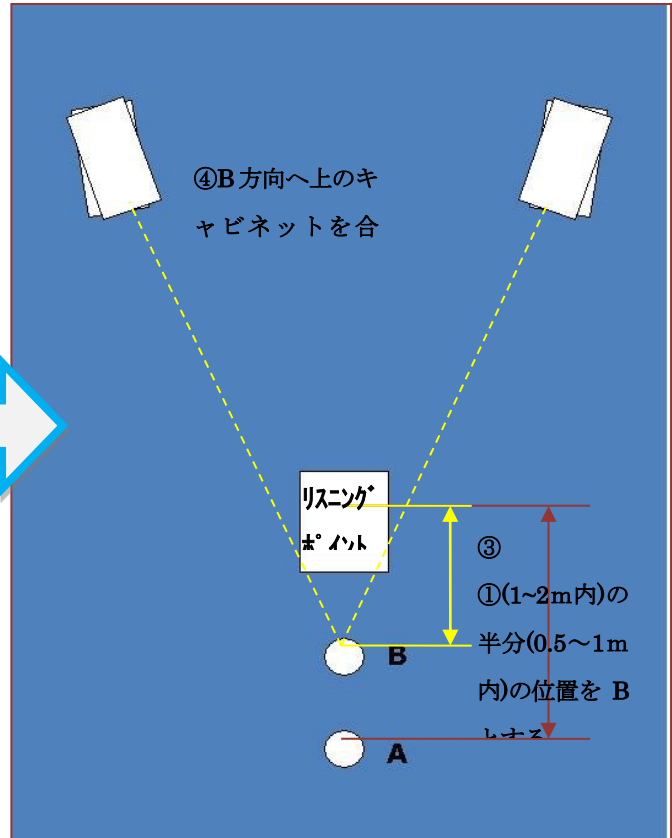


図 II



調整

以下の調整を実行する前に、それまでのセッティングが全て行われていることを確認して下さい。トーンにつづいて、壁からの距離が重要です。後ろの壁に近づけると、音質的に良い結果が得られることがありますが、低音や音の深さが減衰する場合があります。理想的には後ろ側の壁から1メートル、両脇の壁から1メートルです。しかしながら、スピーカードライバーの特性によりこの距離は変わります。スピーカーが鳴っているとき、楽器のコントラバスのように低音が響きます。その響きをナチュラルに鳴らせるようなポイントへ位置を調整します。通常後ろ側の壁から1～2メートルの位置になります。また、スピーカーを移動させる際は、上のキャビネットを持たず、下のキャビネットを持って動かして下さい。低音のバランスが取れましたら、スピーカーが水平でぐらつきがなく安定していることを確認して下さい。スピーカーを安定して設置することにより、低音のパフォーマンスも最大限に発揮されます。

上のキャビネットの固定

(1)左右方向

上のキャビネットは、左右に向きの調整ができます。

(**図Ⅲ**)。

上のキャビネットと下のキャビネットを繋ぐ軸に固定用ネジ穴があります (**図Ⅳ**)。

上のキャビネットを固定したい場合は付属のドライバーでネジを締めてください。



※ネジ穴は3か所ありますが、真横の1か所のみ

付属のドライバーで固定ができます (図Ⅳ)。

※ネジを固定したまま上のキャビネットを無理に動かそうとすると、壊れる危険性があります。

上のキャビネットを動かすときは、**必ずネジを緩めた状態**で行なってください。

※ネジの締め付け過ぎにご注意ください。



お手入れ

スピーカーキャビネットは、柔らかい布を水で濡らして固く絞ってから拭いて下さい。

ワックスなどは使用しないで下さい。キャビネットはなめらかで堅い仕上げになっていますが、直射日光や高熱にさらされないように注意して下さい。

Specifications

形式	3way 5スピーカー バスレフ型
ユニット	TW / 19mm リングドーム・ツイーター (フェイズプラグ・デザイン) ×1
	MID / 152mm コンポジットコーンミッドウーハー (フラット X4P) ×1
	WF / 178mm コンポジットコーンウーハー (フラット X4P + ファブリック・センター) ×3
周波数特性	28Hz - 35,000Hz
クロスオーバー	230Hz / 2,600Hz (6dB/oct)
感度	91.0dB (2.83V@1M)
インピーダンス	4Ω
推奨アンプ出力	50 - 400W
本体サイズ(W×H×D)	198×1,148×435 mm (キャビネットサイズ)
	295×1,210×435 mm (スパイクフット含む)
重量	49kg(台)

Vienna Acoustics は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。


※修理についてのご質問・送り先は、本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Vienna Acoustics** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで



株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : support@naspecaudio.com

2023.5.31 (Ver 1.02)